

## 令和7年第10回 教育委員会定例会会議録

佐野市教育委員会 教育長 津布久貞夫は、令和7年9月30日第10回佐野市教育委員会定例会を佐野市役所大会議室Cに招集した。

1 出席委員は、次のとおりである。

教	育	長	津布久	貞	夫
委		員	伊	藤	弘
委		員	茂	木	郁
委		員	浦	野	祐

2 欠席委員は、次のとおりである。

教	育	長	職	務	代	理	者	駒	形	忠	晴
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

3 この会議の説明員は、次のとおりである。

教	育	部	長	川	村	大
教	育	総務課	長	向	田	綾子
学	校	適正配置課	長	戸	室	正明
学	校	管理課	長	青	木	洋
学	校	教育課	長	館	野	道明
教	育	センターアクセス課	長	大	歳	勝也
生	涯	学習課	長	亀	山	佳弘
文	化	財課	長	岩	上	正

4 この会議の書記は、教育総務課 総務係長 須藤弘美、総務係 小林朋文である。

5 付議事件

- 報告第1号 佐野市教育委員会に属する会計年度任用職員の任用について
- 議案第1号 令和8年度小学校、中学校及び義務教育学校職員定期異動方針について
- 議案第2号 佐野市奨学金貸与規則の改正について
- 議案第3号 佐野市教育委員会に属する特別職の職員（佐野市図書館協議会委員）の任命について
- 議案第4号 佐野市教育委員会に属する特別職の職員（佐野市博物館協議会委員）の任命について

## 議案第5号 令和7年度教育に関する事務の点検・評価報告書（令和6年度事業対象） の公表について

### 6 議事日程

- 日程第 1 会期の決定について
- 日程第 2 会議録署名委員の指名について
- 日程第 3 前回会議録の承認について
- 日程第 4 教育長報告事項について
- 日程第 5 報告第1号について
- 日程第 6 議案第1号について
- 日程第 7 議案第2号について
- 日程第 8 議案第3号について
- 日程第 9 議案第4号について
- 日程第 10 議案第5号について

### 7 会議の要旨

開会時間 午後3時00分

津布久教育長 これより、令和7年第10回 佐野市教育委員会定例会を開会いたします。

それでは、お手元の議事日程のとおり進めてまいります。

まず、日程第1 会期の決定についてでございますが、本日1日間  
ということで、ご異議ございませんか。

（異議なしの声あり）

津布久教育長 ご異議ありませんので、本定例会の会期は、本日、1日間と決定いたしました。

津布久教育長 次に、日程第2 会議録署名委員の指名についてでございますが、  
本日9月30日の会議録は、伊藤委員さんと茂木委員さんにお願い  
いたします。

津布久教育長 次に、日程第3 前回会議録の承認についてでございますが、前回  
8月29日定例会の会議録につきましては、すでに各委員さんに送付  
してございますが、原案のとおりとすることで、ご異議ございませんか。

（異議なしの声あり）

津布久教育長 ご異議ありませんので、原案のとおり承認されました。

津布久教育長 次に、日程第4 教育長報告事項について、ご説明申し上げます。  
（津布久教育長説明）

津布久教育長 只今の教育長報告事項について、ご質疑はございませんか。

(なしの声あり)

津布久教育長 ご質疑もないようですので、ほかにご質疑もないようですので、日程第4の教育長報告事項を終わります。

---

-- 【報告第1号の審議】 --

津布久教育長 次に、日程第5 報告第1号についてを議題といたします。  
事務局の説明をお願いします。

生涯学習課長 (報告第1号の説明)

津布久教育長 事務局の説明が終わりました。

この件につきまして、ご質疑はございませんか。  
(なしの声あり)

津布久教育長 ご質疑もないようですので、お諮りいたします。報告第1号につきましては、原案のとおり承認することに、ご異議ございませんか。  
(異議なしの声あり)

津布久教育長 ご異議なしと認めます。  
よって、報告第1号は原案のとおり承認されました。

---

-- 【議案第1号の審議】 --

津布久教育長 次に、日程第6 議案第1号についてを議題といたします。  
事務局の説明をお願いします。

学校教育課長 (議案第1号の説明)

津布久教育長 事務局の説明が終わりました。

この件につきまして、ご質疑はございませんか。

浦野委員 異動は最大の研修ということを実感しているところですが、義務教育学校ができたり、あるいは60歳以降の人が退職延長、再任用など、以前にも増して事務とか県や近隣市町との連携調整が大変なんじゃないかなとお察しするところなんですが、全県的にこれを進める上の共通の課題とか、あるいは本市として特に県に要望していることなどありましたら、教えていただきたいと思います。

学校教育課長 お話が出ましたように、退職が延長されましたので、そういう方々のご希望をまずお伺いしながら、継続して県費職員として勤務くださるのかそれとも市費なのか、延長せずに退職されるのかというところは、希望に沿うようなところを紹介するといった対応というか業務が増えてきているのが現実でございます。調整するのも大変であつたりとか、65歳を過ぎても採用を考えているなんていうこともあります、それぞれのご要望とか、その職種によって対応することの負

担が増えているということは聞いております。県の方に要望していることとしては、やはり加配教員です。来年度で出流原小学校が閉校を迎えるに当たりまして加配教員を要望しております。今後かえで義務教育学校が開校するに当たりましても、また閉校する学校が複数ありますので、そういうところで現在の加配教員が減らないよう、閉校に伴うプラスワンをお願いしたいということは、強く要望しているところです。

浦野委員

ありがとうございます。

茂木委員

教員の数が足りないと言われているところですが、今回のこの定期異動の中で、来年の4月に現実的に教員が不足することが危惧されるような状況はあるんでしょうか。

学校教育課長

県教育委員会では、年度当初の学級数については間違いなく配置するというふうに言っております。毎年育児休暇であるとか、男性教員なども育児休暇を取得する傾向が増えてきておりますので、今年度もそうだったのですが、年度途中になると配置できないというようなことが起きる可能性もあると考えております。

茂木委員

ありがとうございます。

津布久教育長

ほかにございますか。ほかにご質疑もないようですので、お諮りいたします。議案第1号につきましては、原案のとおり可とすることに、ご異議ございませんか。

(異議なしの声あり)

津布久教育長

ご異議なしと認めます。

よって、議案第1号は原案のとおり可決されました。

---

-- 【議案第2号の審議】 --

津布久教育長

次に、日程第7 議案第2号についてを議題といたします。

事務局の説明をお願いします。

教育総務課長

(議案第2号の説明)

津布久教育長

事務局の説明が終わりました。

この件につきまして、ご質疑はございませんか。

伊藤委員

様々な様式をこの規則の中から要領に移すということだと理解しましたが、これによって実際に事務手続きなどが変わってくるのかということを教えていただければと思います。

教育総務課長

規則等で定める場合の判断基準が令和3年3月24日に定められ、様式を要領に定めることによって、行政経営課で行う例規審査委員

会の審査対象から外れることになりますので、柔軟かつ速やかに様式を整えることが可能となります。

伊藤委員 そうしますと、例えば様式を変えようとなったときは、教育委員会の議決もいらなくなるということになるんでしょうか。

教育総務課長 教育委員会事務局内部の決裁で済むということになります。

伊藤委員 わかりました。

津布久教育長 ほかにござりますか。ほかにご質疑もないようですので、お諮りいたします。議案第2号につきましては、原案のとおり可とすることに、ご異議ございませんか。

(異議なしの声あり)

津布久教育長 ご異議なしと認めます。

よって、議案第2号は原案のとおり可決されました。

---

-- 【議案第3号の審議】 --

津布久教育長 次に、日程第8 議案第3号についてを議題といたします。事務局の説明をお願いします。

生涯学習課長 (議案第3号の説明)

津布久教育長 事務局の説明が終わりました。

この件につきまして、ご質疑はございませんか。

津布久教育長 ご質疑もないようですので、お諮りいたします。議案第3号につきましては、原案のとおり可とすることに、ご異議ございませんか。

(異議なしの声あり)

津布久教育長 ご異議なしと認めます。

よって、議案第3号は原案のとおり可決されました。

---

-- 【議案第4号の審議】 --

津布久教育長 次に、日程第9 議案第4号についてを議題といたします。事務局の説明をお願いします。

文化財課長 (議案第4号の説明)

津布久教育長 事務局の説明が終わりました。

この件につきまして、ご質疑はございませんか。

津布久教育長 ほかにござりますか。ほかにご質疑もないようですので、お諮りいたします。議案第4号につきましては、原案のとおり可とすることに、ご異議ございませんか。

(異議なしの声あり)

津布久教育長 ご異議なしと認めます。

よって、議案第4号は原案のとおり可決されました。

---

-- 【議案第5号の審議】 --

津布久教育長 次に、日程第10 議案第5号についてを議題といたします。  
事務局の説明をお願いします。

教育総務課長 (議案第5号の説明)

津布久教育長 事務局の説明が終わりました。

この件につきまして、ご質疑はございませんか。

伊 藤 委 員 点検・評価にあたっていただいた3名の委員の皆様には、細かく見ていただき、非常に良いご意見をいただいたのではないかと思います。ご意見を踏まえて、今後の取組を進めていただきたいと思いました。その上でいくつか質問させていただきたいと思います。まず、報告書5ページの施策1成果指標で「学校の授業時間以外に普段1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか」に対する「30分以上読書する」の割合につきまして、令和6年はその設問がなかったということなんですが、令和7年度に80%という目標が挙げられていますが、令和3～5年度では30%台で推移してるので目標値を80%に設定した根拠があれば教えていただきたいと思います。

学校教育課長 設定した時点では、期待値ということで80%になっておりました。

伊 藤 委 員 わかりました。30%台だったのが、何をどう変えたら80%になるのか、何か根拠があるってことなのかなと思ったので聞いてみたというのがまず一つです。あと、6ページの施策4で「英検3級程度以上の英語力を有する生徒の割合」ということで、50%弱で推移しているというところかなと思いますが、これはどのような調査を行って、この数字が出てきたのか、調査の方法を教えていただければと思います。

学校教育課長 学校の方に調査をかけておりまして、実際に英検3級を持っている生徒さんと、あとは教員から見て英検3級程度の力を持っていると思われる生徒さんとを含めて、数を挙げていただいております。

伊 藤 委 員 よくわかりました。ありがとうございます。次に7ページの施策6ですが、「教科の接続等について、中学校と連携している小学校の割合」について、これは全国学力学習状況調査による数字だということで令和6年度が55.5%だったわけですが、やはり令和7年度も目標として97%という高い数字が出ているので、これについても何か根拠があるのかというところと、あと令和6年度の55.5%っていうのは令和3～5年度からすると下がってるわけですが、その理由というの

も分かれば教えていただきたいと思います。

学校教育課長 先程申し上げたことと同じになってしまいますが、計画を作った令和3年の時点で4年後の目標として期待値ということで設定しましたが、実際このくらいで低いというのはちょっと残念な結果ではあるんですが、目標自体は最初に設定したもの変更していないため、高いままになっております。令和6年度が下がってしまった理由としては、コロナ禍以降、教員の交流ができないでおりましたが、合同研修につきましては再開したことで100%となったところですが、一方で教科連携については簡素化されてきたために下がったものと思われます。

伊藤委員 わかりました。これにつきましては、どのような設問で調査されてるかお分かりになりますか。

学校教育課長 全国学力学習状況調査の学校質問書の中の一つの設問でございまして、学校として回答しているところです。

伊藤委員 わかりました。このあたりは、今後義務教育学校を進めていくというところで非常に重要な指標になるかと思いますので、小中の接続については一生懸命取り組まなければならないのかなと思いました。最後に、21ページのコミュニティ・スクール推進事業の考察に、「まだ改善の余地が見られる」という文言がありますが、具体的に改善すべき点について教えていただきたいと思います。

教育総務課長 各学校から提出された学校運営協議会の議事録を拝見しましたところ、学校評議員制度の名残といいますか、学校と共に取り組むところまでは至っていないのでは、という印象を受けたことを考察として書かせていただきました。

伊藤委員 よくわかりました。ありがとうございます。

茂木委員 10ページの委員からの意見に、複式学級がある学校については「学力面への不安や教員不足の課題があるので、サポートがあると良いと思う。」と記載されていますが、自分も同じ意見だと感じたところです。現実的には、例えば小規模校を見たときに、吾妻小学校などは、数年後に義務教育学校になって複式学級が解消されますし、出流原小学校も赤見小学校との統合が進んでいるということで、ここも複式学級がなくなっていくということが見てるかなと思います。それで、栃本小学校や多田小学校を見たときに、今後、今の田沼東中学校との小中一貫校ができるまで、複式学級をずっと継続していく可能性が大

きいなと感じました。多分以前もこんなお話をさせていただいて、さわやか教育指導員などを手厚くつけてもらうとか、いろいろやっていただいてると思うんですけども、やはり複式学級となると、授業をやっていく上での教員の負担といいますか、やりくりが本当に大変で、その影響が子どもにも出ていく可能性があるなど感じています。そういったときに、何とかその複式学級に、もう1人先生をつけるのはもちろん財政的にも厳しいとは思うので、せめて国語や算数など、一つの教科でもいいから、T1でやってくださるような人をつけられないものなのかなっていうふうに、いろいろ考えてみたところです。例えば、特別非常勤講師のような事業もやっていますけれど、英語などはそれで活躍していただける方もいらっしゃると思うんですけども、複式学級の算数をやってくださる方とか、国語をやってくださる方、1日、1時間でも2時間でもいいからやってくださる方、そういう素晴らしい方がいらっしゃれば、ぜひ採用してもらえるような方策を何とか考えていただけるとありがたいなと思いました。要望です。

津布久教育長

その件に関しまして、小規模校で、学習支援関係のボランティアとして地域の方で元教員の方が時々来て、算数や国語の授業についてくださるというようなお話も聞いております。また、複数の複式学級がある学校で、教務主任ですとか教頭とか、授業をそれほど多く持っていない教員がなるべく出て、国語や算数については学年を分けて指導できるような工夫をしていることもお聞きしております。要望としてお伺いします。

浦野委員

先程伊藤委員さんからもお話があった7ページの55.5%と97%とか、また9ページの87.2%のように前年度までに目標値を超えるんですけども、7年度の目標が80%なんていうのもあったり、他にもいくつかそのようなところがあって、今のお話ですと、令和3年度あたりに設定したものがそのまま生きているっていうことで、ここを変えてしまうともしかしたら他のシートとかにもいろいろ影響が出てきてしまうのかなと想像しながらなんですが、先ほどお話があったように、これがホームページで公表されるときに、よく読み込まれる市民の方がいらっしゃると疑問を持たれるのかなと。これはあくまでも令和6年度事業対象の令和7年度の報告という形なので、やっぱり前年度までのこの実績を踏まえた上で、7年度の目標が検討された方がいいのかなと感じたものですから。いろいろなところと絡ん

できてしまうのかなとは思いましたが、ご協議いただくような場があればということで意見として、よろしくお願ひします。

津布久教育長 意見としてお伺いします。これはすべてホームページで公表することになりますか。

教育総務課長 そうなります。それぞれの成果指標につきましては総合計画中期基本計画と合わせたものになっておりまして、こちらも4年間の計画で、いま後期基本計画として成果指標を見直ししているところでございます。

津布久教育長 ほかにござりますか。ほかにご質疑もないようですので、お諮りいたします。議案第5号につきましては、原案のとおり可とすることに、ご異議ございませんか。

(異議なしの声あり)

津布久教育長 ご異議なしと認めます。

よって、議案第5号は原案のとおり可決されました。

---

津布久教育長 以上で、本日の議事日程は全て終了いたしましたので、令和7年第10回 佐野市教育委員会 定例会を閉会いたします。

閉会時間 午後3時36分

上記会議録が正当であることを証するため、ここに署名する。

令和7年9月30日

佐野市教育委員会

教育長

委 員

委 員